

青小が紡ぐ 未来を学ぶ一期一会

校長 高山直也

師走の声を聞くと、世の中が急にせわしくなってきます。今年はワールドカップ史上初の12月決勝トーナメントも重なり、せわしさが一段と増しそうです。あえて言えば事故も急増する月。こういう時こそ、楽しみながらも気を引き締め落ち着いて生活したいものです。



さて、そんなせわしい師走に、じっくり落ち着いて観ていただきたい行事が開催されます。それは、12月15日(木)から17日(土)に行われる、青山小学校「令和4年度 展覧会」です。3年に1度行われる展覧会は、それぞれ日頃の表現・造形活動の集大成(発表の場)であることはもちろん、その年その年の大きなテーマに貫かれた、思いや願い・経験や体験も含まれています。今回のテーマは、



「 幸せなあしアート ～Heartをつなげるみんなの一步～」

です。幸せな「足跡(あしあと)」と「アート」をかけ言葉にしています。これは、

『造形活動(アート)を通して、幸せな足跡(作品)を残し、幸せな未来を考える』

という願いにつながります。個人作品とは別に、各学年の創作作品があるのですが、これに使用した材料にコンセプトがあります。企業活動や個人生活から出た「いらなくなったもの(廃材)」です。青山小学校ではSDGsに正面から取り組んでいますが、この展覧会では、「いらなくなったものを、価値あるものに生まれ変える」『循環・再生』の考えを作品作りに生かしました。作品として足跡を残しながら、幸せな未来を創ることにもつながります。



またその作成過程では、様々な企業や地域諸機関、個人や芸術家の方たちの指導や協力を得て、豊かな関わりをもってきました。サブテーマの「Heartをつなげるみんなの一步」は、

『この展覧会を通じて、様々な人・物・事と出会い、それぞれがもつ人柄や熱い思い(ハート)、

物の大切さ・質感、人や物のエピソードを感じて学ぼう、そういう一步(足跡)にしていこう』

という思いにつながります。人と人、事物と人のつながりも『循環・再生』の考えにつながりますね。

子供たちを指導して下さったり、材料・器具・用具等を提供していただいたりした個人は約30人。その中には重要無形文化財(人間国宝)保持者の今右衛門様をはじめ、たくさんのアーティストやデザイナー、環境関連の方、伝統工芸の方、材料提供して下さった企業や保護者・区民の方々を含めると、いったいどれくらいの方々に関わりがあったのでしょうか。ここ青山小学校にたくさんの芸術家や専門家が集い、文化を、環境を、そして未来を子供たちと一緒に考えながら、展覧会を支えていただきました。この紙面をお借りして、関わっていただいた皆様に心から御礼申し上げます。子供たちのために本当にありがとうございました。



子供たちの作品をどうかじっくりご覧いただき、ほっこりしていただければと思います。鑑賞する際、

『子供が材料や道具と向き合い、その時感じたことから、心・体・手を動かした様子を想像しながら、『制作過程を追体験』していくことをお勧めします。

描画のテクニックや器用さに目がいってしまうと、子供のもつ純粋さや思い、表現が見えにくくなります。ぜひお誘いあわせの上、お越してください。感染症の蔓延次第では変更もありますが、今のところ人数制限は設けない予定です。お待ちしております。

～青小で紡ぐ、たくさんの一期一会から、未来の幸せを共に学びましょう～

子供たちが幸せに過ごせる世界づくりに

毎年12月、ユニセフ募金活動を行っています。運営委員会の児童がユニセフの活動について調べ、全校児童に分かりやすく伝えるために掲示物を作り、募金へ協力してもらえるように準備をしています。掲示物では、世界の問題も自分事として関心をもってもらえるようにクイズ形式にするなど、子供らしい表現方法で協力を呼びかける工夫がされています。また集会では、ユニセフ協会の方から講話をしていただきます。



子供たちが幸せに過ごせる持続可能な世界になるように、子供たちの思いを大切に取り組んでいきます。



特別活動部

芸術の秋 ～和・洋の伝統に触れる～



11月子供たちはたくさんの芸術に触れ、体験する活動を行いました。それぞれの活動を少し紹介します。

全校音楽鑑賞教室では、音楽室にある身近な和・洋の打楽器をプロが演奏する様々な奏法や音色の違いに子供たちはもう釘付け！学習した曲などが演奏されるたびに、目をキラキラさせながら聴いていました。鑑賞後、様々な場面で音色や奏法に気を付けて表現する児童が多くいました。

高学年は、重要無形文化財保持者 14 代今泉今右衛門先生をお招きし、伝統工芸「色鍋島」の技法を使った墨はじきを、4年生は江戸手描友禅の染め付け体験を行いました。講師のお話を聴き、歴史や工芸技術の凄さを体験したことで実感していました。ある児童は、色鍋島の文様の美しさに心惹かれ、器に文様を真似ながら描く姿がありました。体験した工芸作品は、展覧会で展示します。

3年生は、北青山にあるスタインウェイのピアノを見学しました。ピアノの仕組みや部品数の多さ、8割の工程が手造りで行われ、完成まで1年以上もの時間が費やされる話を聴き、子供たちは驚くばかりでした。それぞれの時代のピアノ音楽を鑑賞し、音楽で時代旅行も楽しみました。

どの活動も子供たちにとって大変貴重な体験でした。時代と共に変化をしながら引き継がれる伝統工芸は、SDGsの様々な目標にも当てはまり、深い繋がりがあつたことを知るきっかけにもなりました。

音楽専科



12月の行事予定

日	曜	主な行事予定	
1	木	読み聞かせ 午前授業 (あすなろ除く) 3~6年書初め指導	●
2	金	ユニセフ集会	
3	土		
4	日		
5	月	全校朝会 子どもサミット ユニセフ募金開始 (~8日まで)	
6	火	安全指導 2年あいさつ運動 (~8日)	
7	水	集会 午前授業 6年能鑑賞	
8	木	避難訓練	●
9	金	たてわり班	
10	土		
11	日		
12	月	全校朝会 クラブ	○
13	火	5年キャリア教育	
14	水	午前授業	
15	木	展覧会児童鑑賞日① 個人面談 (希望者) ①	●
16	金	学級活動 展覧会児童鑑賞日② 個人面談 (希望者) ②	
17	土	5時間授業 展覧会保護者鑑賞日	
18	日		
19	月	振替休業日	
20	火	個人面談 (希望者) ③	
21	水	午前授業 個人面談 (希望者) ④	
22	木	個人面談 (希望者) ⑤	●
23	金	終業式	
24	土		
25	日		
26	月	冬季休業日開始 (~1月7日)	
27	火		
28	水	学校閉庁期開始 (~1月5日)	
29	木		
30	金		
31	土		

●○…カウンセラー来校日

※予定は、変更になる場合があります。

今月の目標

生活目標 学校をきれいにしよう
 保健目標 冬を元気にすごそう
 給食目標 かせに負けない食事をしよう



～食べ物ひみつ 教えます～

3年担任

私たちの毎日の食事には、肉・野菜など、様々な材料が調理されて出てきます。その中で、ご飯になる米、パンや麺類になる麦の他にも多くの人が毎日、口にしているものがあります。それはなんですか分かりますか？3年生ではそんな国語の学習から「食べ物ひみつ 教えます」の学習は始まりました。多くの人が毎日、口にしているもの、それは「大豆」です。大豆は、煮豆、豆腐、味噌、醤油、納豆、枝豆、もやしなどと様々なものに姿を変えて食べられているのです。3年生は給食の献立表を手に取り、大豆がどれだけ給食に出てきているのか調査してみると、なんと1か月のうちに大豆がでてこないのは2日程度！！



赤い○印は、大豆がいろいろな姿で給食に使われていた印だよ！



そこで、大豆のように、他にも姿を変えて食べられている物があるのではないかと思い、調べることにしました。

麦や魚、牛乳など様々なグループに分かれ、本などを使って調べてみました。調べていくうちに、知っていたものもあったけど、知らなかったことや新たな発見もあり、いろんな人に伝えたいと思うようになりました。そこで、青山小学校の各クラスに発表しに行くことにしました。

それぞれのグループ、説明する文章を作ったり、説明の時に使うスライドを作ったり、発表に向けて一生懸命取り組みました。

スライド作りは初めてでしたが、見やすいスライドにするために試行錯誤する子供たち。



発表当日…。いつもと違う環境での発表に緊張気味の子供たちでしたが、今まで調べてきたことの成果を発表できてとても満足そうな様子で教室に戻ってきました。

食べ物がいろいろな姿に形を変えることを知り、また姿を変えるためにいろんな工程を踏み、人の苦勞があっでできていることに気付き、食べ物は残さずに食べようと一層意識できた学習でした。



11月 青山小 生活の様子

色鍋島伝統技法「墨はじき体験」(5・6年生)



江戸手描友禅(4年生)



スタインウェイ「ピアノ鑑賞教室」(3年生)



打楽器鑑賞教室(全校)



バンドクリニック(ブラスバンド)



お花さんへ買い物~苗植え(1年生)

